

## 社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	岡山県地域住宅等整備計画、岡山県地域住宅等整備計画（防災・安全）
② 都道府県名	岡山県
③ 計画作成主体	岡山県
④ 計画期間	平成 23 年度 ～ 27 年度
⑤ 計画の目標	「快適生活県おかやま」の実現のため、高齢者等県民すべての「安全・安心」と「子育て支援」を重点的に推進し、岡山県の地域特性を生かした快適な住生活の確保を目指す。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	岡山県において評価を実施（平成 28 年 4 月）
⑦ 事後評価の結果	<p>指標①：「バリアフリー化住宅の割合」  定 義：地域内の県営住宅におけるバリアフリー化された住宅の割合  評価方法：事業実績による  結 果：従前値：14.5%（平成 23 年度）⇒目標値：15.7%（平成 27 年度）  ⇒実績値：15.9%（1,088 戸／6,860 戸）（平成 27 年度末）  結果の分析：概ね計画どおりに建替を実施できたため、目標を達成できた。</p> <p>指標②：「中層耐火県営住宅ストックの改善の実施割合」  定 義：建設後 30 年以上経過した中層耐火県営住宅のうち、長寿命化のためのストック総合改善事業を実施した割合  評価方法：事業実績による  結 果：従前値：74.5%（平成 23 年度）⇒目標値：91.7%（平成 27 年度）  ⇒実績値：80.9%（2,809 戸／3,473 戸）（平成 27 年度末）  結果の分析：財源の関係で事業実施を先延ばししたものがあため、目標を下回った。</p>
⑧ 結果の公表方法	岡山県ホームページで公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	今後の建替、ストック総合改善事業については、平成 22 年度に策定した岡山県営住宅長寿命化計画及び平成 23 年度に策定した岡山県住生活基本計画【改訂版】（平成 28 年度に改訂予定）に基づいて行う。
⑨ その他	特になし

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。